

4. トラブル報告

1) 裁断機監視作業中の転倒

(1) トラブルの概要

平成 26 年 1 月 21 日(火)午前 10 時頃に小型解体室（レベル 3 区域）で労働災害が発生しました。状況は車載トランス分解作業で横型バンドソー（U-2110）による切断を操作盤付近で監視中の作業者が後ろを振り向いた際、バランスを崩して右足小指付近から転倒し負傷したものです。

(2) 処置

被災者は直ちに社車で近くの病院へ運び診察を受けた結果、右足小指の骨折と踝部靭帯が損傷しているとの報告を受けました。1 月 27 日に診察した結果、「右第 5 趾中足骨基部骨折」で 2 箇月の安静加療とのことでした。



(3) 原因

被災者はオイルパンの周囲にある高さ 5cm の側壁に足下が引っ掛かったという感覚は無かったとのことです。小型解体室は管理区域がレベル 3 なので保護具は全面型防毒マスク、化学防護服、化学防護長靴を着用していますが、視界が狭く、動きにくいことも要因の一部と考えられます。

(4) 対策

当日(21 日)、被災者が病院から 14:30 ごろ帰社したので、本人から災害内容を聞き取りながら事故対策会議を開催しました。続いて 22 日及び 24 日に同様の会議を開催し、再発防止策として下記項目を実施することを取り決めました。

- ① 個人に支給している化学防護長靴（耐薬品、耐荷重）のサイズを確認し、サイズが合わないものは交換する。
- ② オイルパンの周囲にトラテープを貼って危険表示を行う。
- ③ 解体室内で個人が注意しているポイントを抽出してまとめ、情報をグループ内で共有する。
- ④ オイルパン内側に側壁と同じ高さの踏み板を設置する。

図-10 災害現場配置図（西棟 1 階小型解体室）

